

宝物はすぐそばに

校内研通信

第16号

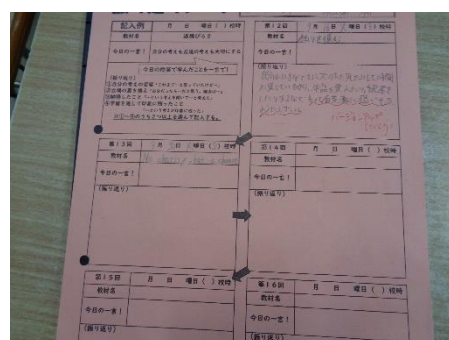
R7.9.30

発行者:校内研担当 仲村智

同情するなら Chance(機会) をくれ！

9月30日(火) 3校時、3年4組にて平藪可那子先生が道德の授業を公開しました。本時のねらいは、「日本の障害者福祉の父」と呼ばれた中村裕医師の資料のをもとに、よりよい共生社会を実現しようとする実践意欲を育てることです。本時のメインテーマともなりうる中村医師の基本理念「No Charity, but a Chance!」の意味を生徒に予想させる面白い仕掛けから授業はスタートし、教師と生徒の軽快なやりとりの中にも常に集中が続くよう気配りや声かけ等をしながら、全員が授業のテーマに向き合い参加している素晴らしい授業でした。特にグループの形態を取らずとも、自然な流れで近くの友達同士での意見交流ができるところに感銘を受けました。さすがは3年生😊皆まで言わずとも、先生の意図を汲み取り、考えて行動できる姿を、日頃の授業や学級でも遺憾なく発揮しているのですね👍

可那子先生、素敵な授業をありがとうございました😊



RS
みつけた!

南風原町学力向上推進委員会 かすりっ子「学ぶ」プロジェクト

【RSの視点を意識した6つの授業改善のPoint!】より

【Point2】各教科で文章の読み方を明示的に指導する!

- ☐ 教科書を正しく読むための方略(文章に線を引く)を明確化し、子供達に伝えているか?
(線を引く / 丸で囲む / 図で表す / 矢印をひく / 題名に着目する 等)
- ☐ その方略がなぜよいのか、子どもたちに説明しているか?
- ☐ 教科書を正しく読むための方略を使う意図的な練習の機会を設定しているか?
- ☐ 課題解決の過程についてフィードバックしているか?

※ 明示的な指導…何をどのように学んだかが誰の目にもはっきりと分かる指導

※ 教科書を正しく読むための方略…効果的に理解し、知識を定着させるための戦略



明示的な指導とは、「何をどのように学んだかが誰の目にもはっきりと分かる指導」のことです。明示的な指導を、段階を追って丁寧に進めることにより、子供たちが学んだ「教科書を正しく読むための方略や着眼点等」が、他の場面でも使えるようになります!